

Ⅲ 自由記述意見(主なもの)

1 男女共同参画について

- 都会より田舎の方が男尊女卑の考え方が残っているので、慣習の見直しや啓発を時間をかけて進めてほしい。(男性 70 歳以上)
- どんな活動をしているのか、あまり知らない。(女性 60 歳代)
- 必ずしも男尊女碑(男女平等)の世界(世の中)ではない。時には女尊男碑な面もある。(男性 40 歳代)
- どのような施策があるのか知らない。(男性 50 歳代)
- 男女共同といっても完全に共同化するというのはそれぞれの性別なり個性なりがあり難しいことだと思います。あまりみんな同じように平等にという感覚に囚われすぎるのも良くないと思います。その特性が活かされ、皆が幸せに思える社会になれば良いなと思います。(女性 40 歳代)
- 高齢の人の方が「男だから、女だから」と考えている人が多いと思う。若い人の方が理解していると思うので、高齢の人の考え方をまず変えた方が良いと思う。国会も高齢の男性ばかりだから、変化がないのだと思う。(女性 40 歳代)
- 自治会、町内会等、男性主体。女性はただお手伝いにすぎない。田舎は特に。最近では老人主体で他から来た若者を受け入れがたい感じ。(女性 70 歳以上)
- 能力のある女性を積極的に管理職に登用するのはよいと思いますが、そうでない人を登用してしまうと全体として仕事がうまくいかなかったという場面に出くわしたことがあります。手段と目的が混同しないようにするのはとても難しいことだと思います。男だから、女だから、ということではなく、適正に能力を評価していくべきだと感じています。また、古くからの慣習もまだ根強いと思います。結婚してほとんどの女性が苗字を変えるのは、慣習以外の何物でもないと思います。人々の意識改革が必要だと感じています。(女性 20 歳代)
- 地方へ行く程、女性を軽視する傾向あり。女性が今までの活躍が少ないから軽視されるのか？女性がもっと活躍する場を設けることが必要のように思う。女性管理職を見る目が男女共に羨望→あたり前になりつつある。(女性 70 歳以上)
- 環境を整える事は重要だが、結果として50:50になる必要はない。その環境下で女性が社会的立場をどこに持っていかは女性自身が決めれば良い。男性もまた同じである事こそが男女共同参画社会だと思う。(男性 50 歳代)
- 引き続き頑張ってもらいたいが、男性、女性の性差等(身体的能力の差など)も、理解した上で、平等に出来る余地がある箇所は改善し、男性、女性それぞれの強みを生かせる施策を行ってほしいです。何でもかんでも平等にすればいい問題ではないのかなと思います。(男性 20 歳代)
- 女だから、と守ってもらえていることも沢山あるということも忘れないで欲しい。あまり男女平等ばかり言いすぎると(欲ばりすぎると)、どこかでしっぺがえしがくると思います。男女平等にできる仕事、男性の長所を生かせる仕事、女性らしさを生かせる仕事があることももっと伝えて欲しい。(女性 50 歳代)
- 男女共に、人権や平等についての意識が低いと思います。意識改革の啓発に努めて頂きたい。(男性 20 歳代)
- 女性が年を取ってから頂ける年金の額が男性に比べると少ないのは、生涯の中で仕事をしている機会が少ない(期間が)からで、その中には結婚して出産して子育てをして何年間か家庭にいたことで、収入がなかったり社会保険に入っていなかったりしています。どうにかありませんか？女性の立場が弱いです。(女性 60 歳代)

- 男女共同参画社会とは女性が男性と同じ様に働くことが全てではないと思う。女性には妊娠、出産、子育て、家事という重労働がありこの部分をないがしろにして社会進出ばかりをうたうと家庭が壊れたり身体を壊したりする。家で夫や子どもを支えるのも立派な貢献である。男女共同参画というのなら、働き方自体を大きく変えないと家庭は壊れて子どもも邪魔になっていくだろう。(女性 50 歳代)
- 地域役員、愛育、福祉・栄養委員など役員は女性がメインです。なんとかありませんか。(女性 50 歳代)
- 性別もそうですが、生まれ持った事柄への差別や価値観や考えについての差別も未だに残っています。その辺りの差別の徹底排除も失くせば、もっとより良くなりそうです。(答えたくない 20 歳代)
- 働く女性が増えているのだから、婚活支援をするより、結婚・出産しても社会参加が維持できるような社会になったほうが少子化対策になると思う。共働きなのに子どもが病気になったら、母親が学校園に迎えに行き、仕事を休んで看病を担うことが多いのはなぜなのか。男性議員や管理職には、ぜひ一日中、子守体験や介護体験をさせてほしい。年配の男性は育児や介護は楽だと思っているところがある。大変さが分かれば、職場での育児や介護休暇が利用しやすくなったり、職場環境が向上するかもしれない。(女性 40 歳代)
- 本当に男女平等の基、男女共同参画社会を実現したいなら、男女問わずに常識を変えていくしかないと思います。例を挙げれば差別と区別をはっきりつけること。性には生物学的、社会的なものの 2 つあること、性差別とは主に社会的な観点から生じうることを周知して欲しいです。(男性 30 歳代)
- 男女共同参画社会が実現したとしたら、現在の社会よりどのような面で良くなるのか、どのような面で悪くなるのか、経済は成長するのか後退するのか、出生率は上がるのか下がるのか、その社会にはより成長性があるのか、様々な疑問がありますが、岡山県や岡山の自治体ではこういう姿を目指していますというものを、もっと多くの場面で広報するのがいいのではないかと思います。また、職業や役職で男女比を調整しようとする動きが目立つが、女性だからこそしないほうがいい職業(身体的に悪影響が強い、例えば特定化学物質に暴露するリスクがある職場など)もあると思うので、全ての場面で適応する尺度を決めるのは難しいと思う。とても難しい問題だとは思いますが、少しずつ進めて行くしかないのが現状だと感じます。最後に、令和の世になってまでも、女性の幸せは結婚、男性が仕事中心な考えを改めるべきといった、旧世代的な価値観の質問がくるとは思っていませんでした。質問自体が旧世代的すぎると感じたので、質問を作成する人の価値観のアップデートがいるのではないかと思います。(男性 30 歳代)
- 官民ともに女性の管理職が少ない。例えば、県職員のほとんどは慣例的なこと、事務的な業務遂行に長けているが、新しいことを生み出そうという能力に乏しい。新規事業や新しい取り組みを始めようとすると、まさに「出る杭は打たれる」のように管理職や県組織が押し潰そうとする。岡山県にはそのような保守的な風土(悪い面)がある。まずは県の姿勢から変えてほしい。(男性 40 歳代)
- 進取の気鋭があり、古くからの女性教育の伝統を待つ岡山として、男女問わず中間的な性別の人でも個々人の意思により働いたり、家庭に入ったり出来る環境作りを施策していただきたい。また、現代日本は過度の女性優遇や定数を満たすだけの女性管理職などの方向に傾きかけているので、バランス感覚を大事にして欲しい。(男性 40 歳代)

2 行政について

- 県政の皆様の頑張りはいつも感心させられますが、企業からの考えを変えないといけないと思います。古い考えの年配が上司であり、理解が乏しいと思います。特に女性は仕事ができないと考えており、まずは60才以上の男性の考え方を变化させないと仕事のモチベーションupにはできないと思います。(女性 50 歳代)
- 女性が働きやすい環境を整えることは大切だが、同時に働かずに子育てや介護などをしている人に対して、社会的な価値を認める取り組みが必要であると思う。子どもを育てることは社会の未来を担う人を育てること、社会をつくる最も重要な役割であるという意識が大変薄い。正規職員ではない人が出産や育児休暇などの支援を受けづらく、退職せざるを得ない。(女性 40 歳代)
- 学校現場で、女性が輝ける仕組みを作して下さい。管理職も、女性の方が相談しやすいです。(女性 20 歳代)
- 興味の無い人が多いと思うのでテレビ・新聞などで分かりやすく宣伝したら良いと思う。(例、芸能人を使う。)(男性 60 歳代)
- ①岡山県が現在行っている施策を全く知らない。もっと広報活動にも力を入れるべきではないか。②このアンケートについても、現在岡山県が行っている施策の方向性等についてもアンケートで意見を求めるべきでないか。③この様なアンケートをしても、アンケートを行った者へのフィードバックが全くなく、どの様に活用しているのか分からない。①とも重複するが、もっと広報が必要では。(男性 60 歳代)
- 子育てや介護など、いろいろな部署と連携して、働きやすい環境の整備を進めたり、地域活動へ参加したりして、充実した生活が送れるように制度を変えていっていただきたいです。(女性 50 歳代)
- 施策について知りません。そこを知らせて、県民に協力や努力するポイントを教えて下さい。このアンケートをすることで、少し理解は進んだと思いますが、何より大切なのは家庭の中での協力は身近で大切なことです。(女性 60 歳代)
- 私は主婦、農業をしていますが、このアンケートの内容から、現金収入を得ていない人に対しての感じが、あまり良く思われていないなと思ってしまいました。ちゃんと働いて、女性も昇進していかないと共同参画社会に取り残されるのかなと感じました。そういった昇進やら何やらに関係ない人でも取り残されない岡山県になるよう期待します。(女性 40 歳代)
- どのような活動、イベント等があるのかよく分からないので、知ることのできる機会があればいいと思います。(女性 50 歳代)
- 行政機関(県、市町村)と現場(事業所等)が情報交換を通じて、関係性が保たれる必要があると思います。(男性 60 歳代)
- 障害者の支援をして欲しいです。(女性 40 歳代)
- 女性への性加害等への対応も必要だと思うが、女性からの性加害があるため“女性の為”と区切らず、加害者等の区切りにしてほしい。子育て世代の働く時間の短縮等の施策を男女に関わらずやってほしい。給料は変わらずか、他の人たちに給付する等にしてほしい。(女性 20 歳代)
- やってますアピールだけにならないように…女性が失敗したら「だから女性はダメなんだ」ではない。男性でも失敗をしている。人数の少ない女性が不利にならないように。何十年と男社会が続きすぎている、その代償は大きい。なぜダメだったのかを考え、次に活かしてほしい。(女性 40 歳代)
- ジェンダーフリーに反対する事が許されないような施策を見る事がある。賛成反対は個人の考え方なので、行政がジェンダーフリー(レス)について周知する事はおかしい(論点がずれている)と思う。(男性 40 歳代)

○子どもの学校から受け取る配布物で、県の取り組みを知っています。定期的に配布され、情報がまとめられていて読みやすいです。(女性 40 歳代)

3 子育てについて

○＜娘の子育てを見ていて思ったこと＞保育施設(保育園)児童クラブなど子育てに協力的な所をもっと増やしてほしいです。岡山は情けないほど大変でした！！子育てにやさしい県、市にしてほしいです。(女性 60 歳代)

○保育園の空きがなく育休から復帰できない人がいると聞くので、改善してほしい。(女性 20 歳代)

○一人親世帯での女性の負担は大きいと思います。元夫からの養育費等の支援義務とかははっきりしていない。そう言った事への対策も考えていただきたいと思います。(女性 60 歳代)

○現在育児休業を取得していますが、認可保育園の空きがなく仕事復帰ができません。子どもがいるから仕事を諦めないといけないのは少し寂しいです。経済的なこともあるので困っています。女性が育児休業を取得するのが当たり前になっているけど復帰する難しさ、復帰してからの負担の大きさ(仕事と家事の両立)が少しでも改善されれば社会は少しずつ変わっていくのかなと思います。(女性 30 歳代)

○男性の家事育児参加を推進しなければ、どんどん女性負担が大きくなり離婚率も上がることになる。生理の仕組みや妊娠の苦勞などを知らない男性が多すぎる。また、女だからと妻を見下したり家政婦扱いする人が多すぎる。(女性 30 歳代)

4 教育について

○現在の社会では、モラル、マナー、道德等の人としての基本事項の教育が不足していると思う。家庭、地域、学校、職場等あらゆる場面で教育されることを希望します。(男性 70 歳以上)

○とにかく学校教育の時代から、道德教育を圧倒的な時間を使って行い、「悪い事はダメ」「差別はダメ」「人に迷惑をかけない」等を幼い時から「当たり前」として教育し、大人になっても教育する。(男性 60 歳代)

○お互いが気持ちよく認め合って生きていくための性教育に関するイベントが増えれば良いと思う。(女性 20 歳代)

○大人になっていくら男女平等、共同参画の啓発活動に触れても、幼少期にその養育環境や学校教育で学び刷り込まれた意識を変えるためにはかなりの力がある(あるいは頭ではわかっても自分のこととは切り離された理解でしかない)と感じる。保育・教育現場で幼少期から適切な男女共同参画を学ぶことが、次世代に男女共同参画を根付かせるために必須だと感じている。(女性 30 歳代)